



## 模擬EUが奈良女子大学で開催されました

10月26日(土)に関西初の「模擬EU」が国際戦略センターと駐日欧州連合(EU)代表部の主催等で開催されました。昨秋の東京大学に続く第2回となり、奈良女子大学の学生13名に加えて、大阪大学、神戸大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学他、関西以外から国際教養大学、一橋大学、早稲田大学、聖心女子大学等の12大学から計46名が参加し、気候変動をテーマにEUにおける政策決定をシミュレーションしました。当日、パブリックビューイング会場(奈良カレッジズ交流テラス)を設け、ライブ配信も行いました。Nara ISC and the EU Delegation organized Model European Union (MEU) in Nara Women's University on Saturday 26 October. It was the second round following the University of Tokyo last autumn. There were 46 representatives: 13 students from NWU and the others from 12 universities such as Osaka, Kobe, Doshisha, Ritsumeikan, AIU, Hitotsubashi and Waseda. They simulated EU policy-making on climate change in the Council of Ministers. The session was streamed live to a public viewing at NUcross terrace as well as the internet.



## JASSO日本留学フェア(タイ)に出展しました

9月7日(土)、8日(日)にタイで開催された2024年度日本留学フェア(タイ:JASSO主催)に、奈良国立大学機構が出展しました。7日(土)はチェンマイ、8日(日)はバンコクで開催され、日本留学に興味のある学生が多数参加する中、個別ブースにおいて本学について紹介するとともに、入試・生活等に関する質問や相談に応えました。バンコクにおいては、タイから奈良女子大学に留学した卒業生も参加し、通訳をしてくれたり、本人の留学経験を参加者に伝えることで、留学に関する情報を直接伝えることができました。

September 7 (in Chiang Mai) and 8 (in Bangkok), Nara National Institute of Higher Education and Research exhibited at "Study in Japan Fair 2024 (Thailand)" organized by JASSO. Many students interested in studying in Japan participated in the fair. At individual booths, we introduced our university and answered questions and provided consultation regarding entrance examinations, daily life, etc. In Bangkok, alumni from Thailand who studied at Nara Women's University participated in the event, interpreting and sharing their study abroad experiences with the participants and providing them with direct information about studying abroad.



● サーコンサティット スッパッターさん(写真中央)  
日本語・日本文化研修留学生(2017年度修了)

● 今回通訳したこと: 奈良女子大学がタイで開催される留学フェアに参加すると聞いて嬉しかったのですが、通訳として大学のブースを手伝いできたことはもっともっと嬉しいことでした。ブースに来たタイ人の学生さんが、奈良女や奈良教育大学について興味津々で聞いているのを見たら、日本の大学に留学したい夢があった学生の頃の自分みたいだと感じて、その子たちの夢を叶えてほしいと応援したくなりました。先生たちとも出会えて暖かい仕事でした。

● 現在していること: 日系会社の通訳を務めています。卒業して7年ぐらい通訳しています。これからも日本語を使いこなしていきたいと思っています。

● 奈良の留学の思い出について: 一番懐かしかった思い出は弓道です。留学の時に弓道部に入っていましたが、帰国してから全然やっていません。あの時、新先生と部員の子達が一生懸命で教えてくれて、練習中に(たった一回だけの)皆中(4本当たった)できて、弓道の試験も受けて2段に受かったことは忘れられない思い出です。弓道部のおかげで日本人と喋る機会ができて、いい繋がりができました。



# 夏休み海外研修プログラム

夏休み期間中、国際戦略センターでは渡航型・オンライン型の海外研修を実施し、たくさんの奈良女子大学生が研修に参加しました。（◆は参加者の感想です）

## シンガポール研修 インターンシップ

日程：8月19日～9月20日  
 参加人数：3名  
 内容：インターンシップ（JTBシンガポール支店におけるインバウンド業務体験およびNATASトラベルフェアのJTBブースにおいて活動）  
 ◆ただインターンとして仕事するだけでなく、シンガポールのことを学びながら活動することができたためとても有意義な時間を過ごすことができました。◆初めて海外に行く人や、英語力にそこまで自信がない人でも2週間という日数を過ごすことができるプログラムだったと思います。参加して良かったです。

## グローバル女性人材養成プログラム フィリピン

日程：8月20日(火)～9月4日(水)  
 参加人数：20名  
 内容：語学研修（セブ島 QQ English）  
 「特別号 Narajisc 2024年度グローバル女性人材養成プログラム」にて報告

## 海外オンライン研修 セブ島

日程A：8月26日～8月30日  
 日程B：9月9日～9月13日  
 参加人数：25名  
 内容：オンラインマンツーマン英語授業  
 ◆英語が不得意でも根気強く笑顔でレッスンしてくれたのが良かった。◆マンツーマンの授業をじっくり時間を取って受けられたので英語力が上がった実感があります。◆カランメソッドでは、間違えた文法や発音をその度に指摘してもらえたことが特に良く、今回の研修で英語で会話する能力を上げることができたように思います。また、sdgs topic conversation では自分の意見を英語で言語化する能力も身についたように思ったため、非常に満足しています。◆先生ごとに多少の差はあれど、着実に英語力が上昇した実感がある。

## マレーシア研修 食と文化

日程：8月26日(月)～9月1日(日)  
 参加人数：10名  
 内容：異文化理解（現地学生との交流、企業見学、ハラル学習、マレーシア伝統文化体験ピクチャーノッキング&パティック染め）◆異文化について気になったら、自分から調べる機会をもっと設けようと思うようになった◆海外がとても身近に感じるようになった。なぜなら、マレーシアの人々の優しさにふれ、様々な体験ができたことで、自分の普段の生活や考え方と似ていたり、親近感がとてもわいたからです。◆研修を通して言語や文化に多少の壁はあるものの、頑張って伝えようと寄り添う姿勢を示すことで相手も優しく寄り添ってくれると感じた。積極性は大事だと感じた。◆日本の常識に囚われることなく、物事を柔軟に捉えられるようになった。



渡航前には、マレーシアからの留学生に協力してもらい、マレーシアについて3回(イスラム教・マレー語・文化)の事前学習イベントを行いました。



## その他 Nara ISC研修

- ◇オーストラリア研修  
 日程：8月31日(土)～9月9日(月)
- ◇ベトナム研修  
 日程：8月5日(月)～8月14日(水)
- ◇インドネシア研修  
 日程：9月16日(月)～9月20日(金)

## 春休み海外研修

- ◇グローバル女性人材養成プログラム ニュージーランド  
 日程：2月15日(土)～3月10日(日)
- ◇ヨーロッパ研修  
 日程(前)：3月1日(土)～3月9日(日)  
 日程(後)：3月11日(火)～3月19日(水)
- ◇カンボジア研修 ※奈良教育大
- ◇ハワイ研修 ※奈良教育大
- ◇海外オンライン研修 セブ島A  
 日程：2月24日(月)～2月28日(金)
- ◇海外オンライン研修 セブ島B  
 日程：3月10日(月)～3月14日(金)



# 留学生実地見学旅行 ～湯浅と稲村の火の館 in 和歌山～

11月23日(土)、留学生を対象とした日帰り旅行を実施しました。今回の行先は「湯浅と稲村の火の館 in 和歌山」で、奈良女子大学及び奈良教育大学の留学生30名と引率者2名の計32名が参加しました。稲村の火の館では、地震防災および被災地の復興に尽力した濱口梧陵について学び、醤油発祥の地である湯浅では醤油蔵や、国の重要伝統的建造物群保存地区を見学しました。【参加者の感想(抜粋)】◆I liked the Ise Jingu trip, but I liked the Wakayama trip more because I could go to the Tsunami centre. My major is related to disaster risk management, so I got to observe a simulation of tsunami waves.

◆先週の土曜日、先生の引率で和歌山の醤油工場を見学しました。この見学は、私にとって非常に新鮮で貴重な体験となりました。和歌山は日本でも醤油文化が色濃く残る地域の一つで、その深い伝統とこだわりを肌で感じることができました。工場内では、醤油がどのように作られているかを間近で見ることができ、日本の醤油作りに入れられた職人たちの技術と情熱に心を打たれました。特に、木桶を使った昔ながらの発酵方法には感動しました。この工程は単に醤油を作るだけでなく、時間と自然の力を活かして「味」を育てているように感じられました。中国の醤油製造とは異なる点も多く、新しい発見の連続でとても興味深かったです。和歌山の醤油文化に触れることで、日本の食文化の奥深さを改めて感じると同時に、私自身も新たな視野を広げることができました。この見学は忘れられない思い出の一つとなり、今後もこうした体験を大切にしていきたいと思います。◆The trip was both highly educational and interesting, thanks to the excellent organization and well-planned itinerary. It was a wonderful opportunity to connect with other international students while learning more about Japanese history and traditional foods. ◆The trip is overall very fun and informative! with nice schedule pacing, and activities packed with interesting knowledge about Japan's



Tsunami history revolving around the heroic act of Hamaguchi Goryo, and the tour around the traditional village of Yuasa and its historical soy sauce-making factory.



日本文化体験

## 茶道教室

11月20日(水)、奈良女子大学S棟1階ラウンジ (SHI Café Dear deer!) にて「茶道教室」を開催し、奈良女子大学の留学生13名が参加しました。樽井先生からの「茶道」についてのお話の後、実際にお茶を点てる体験をしました。



◆日本だけの伝統的な体験ができて、とても面白い経験でした。先生が着物を着て授業を進めてくださったことも本当に良かったです。日本で着物をそんなに詳しく見る機会がなかったのですが、今回の体験で日本の伝統をもっと知ることができました。◆茶道の先生は日本の伝統的な茶道の歴史や抹茶の入れ方を詳しく説明してくださいました。甘い秋の代表的なお菓子を食べた後、自分で作った抹茶を飲むことは本当にいい体験です。この体験は日本文化への理解を深める良い機会となります。季節感を楽しむ茶道の魅力の一つを味わうことができました! ◆日本の茶道について、いろいろ勉強になりました! 作法



はとても優雅で、抹茶もすごく美味しかったと思います。自分の手で抹茶を作ったら、茶道の伝統的な魅力をより深く体験できると思います。

日本文化体験

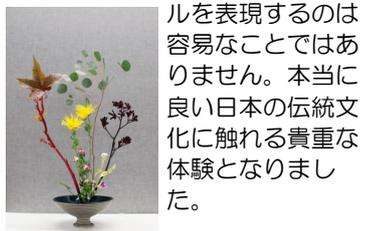
## いけばな教室



12月4日(水)、N棟101教室にて「いけばな教室」を開催し、奈良女子大学の留学生、日本人学生18名が参加しました。田中先生からの「いけばな」についてのお話の後、先生がご用意くださったお花で、グループごとに作品を仕上げました。



◆今回の生け花教室を通して、生け花についての理解が深まりました。先生は生け花の歴史や時代ごとの変化など、さまざまなことを紹介してくださいました。生け花では、自然のものをよく観察することが大切だと気づきました。先生方が用意くださったさまざまな種類の花を使い、グループで実際に生け花を作ってみました。その難しさを実感しました。思ったよりも難しかったですが、とても勉強になりました。生け花のポイントに注意しながらも、自分なりのスタイル

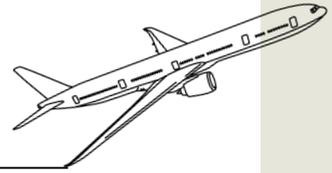


を表現するのは容易なことではありません。本当に良い日本の伝統文化に触れる貴重な体験となりました。

# 交換留学にいきました。

## 帰国後レポート

Exchange Program  
Reports



文学部 人間科学科 3年（留学時）近藤 志帆

台湾大学（台湾） 留学期間：2023/8/1～2024/7/31

### 〈台湾での1日〉

台湾大学では秋学期、春学期ともに語学を合わせて10コマほど履修しており、授業と部活中心の生活を送っていました。朝は毎日8:10から2時間の中国語の授業があります。ペアやグループで相談したり、発表したりする機会が多く、台湾で出会った友人の4割ほどは、この授業で知り合った各国からの留学生です。授業が終わると、2限に授業がなければそのままおしゃべりしたり、早めのランチに行ったり。お店や学食で誰かの知り合いと出会い、そのまま仲良くなることもしばしばありました。

午後の授業は専門の授業。現地学生と交じて中国語や英語で講義を受けます。留学開始直後は、なかなか講義のスピードについていけず、内容の半分も理解していなかったと思います。仕方がないので、テキストやスライドに書かれている文字から内容を推測していました。文字がなくても話している内容がなんとなくわかる、くらいになったのは留学開始から半年ほどたった頃でしょうか。専門の授業のほかにも、ダンスの授業や留学生向けの漢詩、台湾語の授業を履修していました。授業の雰囲気もゆるく、いい息抜きになっていました。授業が終わると、部活の練習です。私は女子ラグビー部に入っていたのですが、チームには留学生も多く開放的な雰囲気、皆とてもフレンドリーでした。チームメイトとは英語で話すこともありましたが、基本的には中国語で会話しており、朝授業でインプットしたことを



夜の部活でアウトプットする、いいリズムが出来ていたと思います。練習が終わると皆でお弁当を食べて帰宅します。部活のない日は図書館に行って勉強したり、友人と遊んだり、あまり日本と大きく変わらない生活をしていました。



### 〈おひとりさまでも楽しい台湾〉

日本は世界一ぼっちに優しい国家であるとよく言われています。インターネット上では、海外ではひとり飯なんてありえない、周りから浮いて寂しい人だと思われる、という意見もありました。そのような情報を目にしていた私はとても不安でした。社交的な性質ではない私は、わざわざ毎日誰かと誘い合わせて食事をする、なんて考えられなかったのです。しかし実際のところ台湾は、日本と同程度、あるいはそれ以上にぼっちに優しい社会でした。一人で食事をしていようが、誰も気に留めることはない、ありふれた風景です。もちろん、せっかく海外に来てずっと一人で過ごしてはもったいないですが、人見知りだったり、友人作りが苦手だという方も、ぜひ留学に挑戦してみてもいいのではないでしょうか。



この国の、この大学で、こんな勉強がしたい！

具体的にイメージできてきたけど…これで悩んでいます…[留学相談フォーム](#)へ。予約制です。



### ▶ 今後のセンター及び国際課主催イベント予定

- 1/11,12,25 日本語オンラインキャンパス「そらみつ」
- 海外オンライン研修（セブA・B日程）
- 春休みNara ISC研修 ヨーロッパ
- そのほか、各言語オープントーク、異文化理解イベント等企画予定
- グローバル女性人材養成プログラム ニュージーランド

奈良国立大学機構 Nara Isc 国際戦略センター 奈良女子大学部会

NEWSLETTER Vol.77 2025年1月発行

〒630-8506 奈良市北魚屋東町 TEL: 0742-20-3736 Email: iec@cc.nara-wu.ac.jp